柏中だより

～豊かな人間性をめざして～

札幌市立柏中学校
学校便り特別号
令和７年 12 月 17 日発行

TEL 521-2341　FAX 521-2343
https://www.kashiwa-j.sapporo-c.ed.jp

令和７年度　全国学力・学習状況調査の結果と分析について

４月 17 日に３年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の本校調査結果の概要がまとまりましたのでお知らせします。

【質問紙調査】

今回の調査でも、国語・数学・理科以外に、基本的な生活習慣から、学校生活、学習状況など多岐にわたる内容の質問があわせて実施されています。

本校の結果に関する分析では、概ね全国の結果と同じ傾向が見られましたが、「全国平均と比べて、本校生徒の特徴となる設問」を紹介します。

この調査結果を参考に校内の研修を推進して授業改善を図るなど、更に充実した教育活動となるよう努めていきます。

【肯定的回答が多く好ましいと思える点】

○平日及び土日に１日２時間以上、学校以外で学習している
○学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる
○授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる
○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる

【課題と考えられる点】

●困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談できる機会が少ない
●分からないことや詳しく知りたいことについて、自分で学び方を考え、工夫することが少ない
●昨年の授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていない

【中学校国語】　教科に関する調査の結果概要及び改善の方向

本校の概要

【内容】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」
◇全国平均より上回っている。

「情報の扱い方に関する事項」
◇全国平均より上回っている。

「我が国の言語文化に関する事項」
◇全国平均より上回っている。

「書くこと」
◇全国平均より上回っている。

「話すこと・聞くこと」
◇全国平均より上回っている。

「読むこと」
◇全国平均より上回っている。

今回の調査における課題

○観点を明確にして文章を比較し、共通点や相違点を整理すること。

○文章を書く際に、周りのアドバイスなどを生かして書くこと。

○文章の内容について、描写を基に時間や心情を捉えること。

改善の方向

◆複数の文章や資料を活用し、必要な情報や自分の考えをまとめる学習活動の充実。また、自身の考えを相手へ効果的に伝える機会の充実。

◆文章を書く際に、どのような工夫を用いるかを考え、書いた文章を周りと交流しながら推敲する指導の充実。

◆文章の描写を想像しながら読み、そのイメージを自分の言葉で表現する活動の充実。

【中学校理科】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【内容】 「エネルギー」 ◇全国平均より上回っている。	○考察をより確かなものにするために、知識及び技能を活用して変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できる。	◆今現在身に付行けている知識や技能を使って、適切な実験方法や実験結果を考えるようにする。
「粒子」 ◇全国平均より上回っている。	○元素記号を問うことで、元素記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いている。	◆より多くの元素を、元素記号を使って表すことができるようにする。
「生命」 ◇全国平均より上回っている。	○水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いている。	◆水の中の生物の生命を維持する働きに関する知識や概念をより身に付けていく。
「地球」 ◇全国平均より上回っている。	○大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できる。	◆大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、地層の広がりを想像し、表現できるようにする。

【中学校数学】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 「数と式」 ◇全国平均より上回っている。	○事象を読み取り、成り立つことを見出し、説明すること。	◆互いに数学的な表現を用いて説明し、教え合う学習活動の充実。
「図形」 ◇全国平均より上回っている。	○ある事象を証明するために必要な条件を的確に見出すこと。	◆結論を導くために何が必要なのかを明らかにし、証明が成り立つように筋道を立てて考える学習活動の充実。
「関数」 ◇全国平均より上回っている。	○χ，ｙの増加量やグラフの傾きや交点の意味を、事象に即して解釈すること。	◆事象のグラフや式から、それぞれの意味を読み取り、活用する学習活動の充実。
「データの活用」 ◇全国平均より上回っている。	○相対度数の意味の理解、不確実な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断理解を数学的な表現を用いて説明すること。	◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明できる学習活動の充実。